

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	第2ジュニアゆうあい		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	将来の自立を見据え、お子様一人ひとりの特性や発達段階を深く理解した上で、個別支援計画の内容を日々の活動の中で大切に形にしています。形式的な活動に捉われることなく、個別の課題や興味関心に合わせた「今、必要な支援」を丁寧に行うことで、一人ひとりの成長と自己決定を優しく支える療育を実施しています。	本人の「やりたい」という意欲を尊重し、その日の状態や反応に合わせた柔軟な声かけや見守りを徹底しています。職員間で個々の活動状況や小さな変化を細かく共有し、支援計画の内容が常に「今の本人」に最適であるよう、日々ブラッシュアップを重ねています。型にはめず、本人の歩幅に合わせた環境設定を常に意識しています。	
2	お子様の体調の変化や活動中の出来事、万が一の事態についても、スピード感を持って正確にお伝えすることを徹底しています。日頃から保護者の皆さまとの対話を大切に、困りごとをいつでも気軽に相談していただけるような、風通しの良い信頼関係を築いています。	些細な「ヒヤリハット」や心の動きも、その日のうちに必ず共有することを職員全員で徹底しています。情報をオープンにすることで、保護者様の不安を安心に変えられるよう努めています。また、いただいたご相談には迅速に耳を傾け、職員間で即座に連携して対応を検討する「スピード感」を常に意識しています。	
3	お子様が心からリラックスし、自分の居場所と感じられるような環境を整えています。整理整頓やプライバシーへの配慮はもちろん、本人の「好き」を活かせる空間を作ることで、情緒の安定を支え、前向きな気持ちで活動に取り組める基盤を作っています。	お子様が「ここは自分の居場所だ」と安心できるよう、視覚的な情報の整理や、落ち着けるスペースの確保に気を配っています。また、本人の意欲を引き出すために、興味のある教材や道具を手取りやすい場所に配置するなど、無理なく自然に「やってみよう」と思えるような環境設定を常に意識しています。	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや地域イベントなど、近隣の子供たちや社会と触れ合う機会が不足していること。	小学生向けの児童クラブ等とは異なり、中高生が「対等な関係」で自然に参加できる地域のコミュニティが不足している現状があります。単なる「見学」や「体験」ではなく、本人の主体性が発揮できるような適切な交流先を見つけ出すことが難しく、連携が定着しにくい環境であったと考えられます。	単に参加するだけでなく、例えば「得意なデジタル作業で地域のポスターを作る」「ボランティアとして軽作業を手伝う」など、中高生としての自尊心を満たせるような、役割を持った社会参画の形を検討します。
2	保護者様同士が悩みや情報を共有し、交流できる機会が不足していること	保護者様が日々お忙しくされている中で、事業所側が「短い時間でも気軽に参加できる機会」や「相談しやすい雰囲気づくり」をもっと工夫すべきでした。これまでの形にこだわってしまい、お便りを通じた情報共有などを活かした「つながり作り」を組織的に提案できていなかった。	保護者様から要望の多い「就労」や「将来の悩み」について、話し合える場の設定を前向きに検討します。一度に全員ではなく、まずは数人単位での茶話会など、事業所の状況に合わせた交流の形を一つずつ模索していきます。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 第2ジュニアゆうあい

公表日 年月日

利用児童数 2025年12月1日現在 20名

回収数 15名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	1		1	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12	1		2	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	1		1	一軒家のため構造上難しい部分もありますが、保護者様や利用者様のご意見を参考に、今後も工夫していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	2			特性に応じた支援の根拠を、デibroボや面談、送迎時でより丁寧にお伝えし、信頼向上に努めます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14			1	わかりやすいような公表の仕方を検討していきます
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14				
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3		2	10	どのような形が望ましいか検討してまいります
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15				
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	13	2			お子様の健康状態や小さな変化を迅速に共有し、ご家庭と常に足並みを揃えたサポートができるよう努めてまいります
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	1			全職員で「共感的な関わり」の重要性を再確認し、お子様一人ひとりの特性を尊重した丁寧なサポートに努めてまいります
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	7	1	1	6	検討していきます
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13			2	日々の困りごとや申入れに対し、より迅速で柔軟な対応ができるよう、職員間の連携を強化し、安心感のある支援やサポートに努めます	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14			1	毎月の通信は受け取っているが、ホームページや評価結果はどこに載っているかわからない	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12			3		保護者様面談等で分かりやすくお伝えできるように工夫していきます
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12			3		定期的に行っていますが、行われたことなどの報告を分かりやすくお伝えできるよう工夫していきます
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	1				保護者様面談等で分かりやすくお伝えできるように工夫していきます
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14			1		今後も速やかな連絡や事故が発生した際の状況等の説明ができるように努めてまいります
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15					
	29	事業所の支援に満足していますか。	15					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		第2ジュニアゆうあい				公表日		年 月 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	・利用者さんや保護者様からご意見を参考にしている	・建物の構造上難しい部分もありますが今後も改善していきたい			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・定期的スタッフで話し合い、遊び・作業・静養する場所等を変更し利用者さんが過ごしやすいようにしている				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	・日々のミーティングやLineworks等で利用者さんの様子を情報共有している ・月に1に振り返りをし改善に努めている				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・日々のミーティングやLineworks、月1回の振り返り等で意見を出し合い業務改善に努めている				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		・月1程度に外部の方に助言や評価してもらっている	無回答1			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・スタッフが研修を受けやすいようにゆうあい全体で研修案内が送られてきて研修に参加する機会が確保されている				
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・児発管だけではなくスタッフ全員が共通理解できるよう定期的に話し合いをしています。				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	・フォーマルアセスメントは行っていないが日々の行動観察はスタッフ間で共有している				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・定期的に話し合いの場を設けている				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・日々のミーティングで話し合ったり、個別支援計画の見直し時期に検討している				

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・ミーティングでその日行われる支援内容だけでなく、LINEworksや前回の利用されたときの様子を細かく報告しその日の支援が円滑にできるようにしている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	・児発管または児発管クラスの職員にその日の支援の報告をしている ・Lineworksを活用し共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・スタッフ全員が日々見れるLineworksを活用して入力したり、それを紙ベースにして記録として保存している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			無回答1
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。				中高生に特化した事業所のため、就学前の情報に関しては共有していない
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。				情報共有の依頼があった場合は本人と保護者様の了解を得て、担当相談員やサービス事業所へ情報共有している
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		・島根県東部発達障がい者支援センター ウィッシュの研修など個人で受けている	無回答1
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。				・今後の必要性等含めて職員で検討していきたい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。			・松江市では社会福祉審議会を開催していますが委員任命のため委員としては参加していません 放デイ代表として参加したところから資料等をいただき報告を受けている	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			無回答1
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2		・面談や電話などで相談を受けた場合は第2で取り組んでいる方法などはお伝えしている。トレーニングの必要性を感じた場合は、専属の公認の心理士へ相談を取り面談等に繋げている	無回答4
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			無回答1
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			無回答1
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	0	・就労に関する相談会等の開催、就労見学ツアー等の参加企画は設けている	きょうだい同士での交流する機会は設けていないため意見等があれば検討していきたい
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	・服薬等ある場合は、保護者様に業の自己投与依頼書を提出していただいたり、相談員と連絡をとらせてもらっている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。				現在、食物アレルギーの方がおられないが、そういった場合には指示書に基づき対応していく
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・ヒヤリハット報告書を明記し、その後はスタッフ間で検討し再発防止に努めている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・ゆうあい全体で研修があり、その後は第2ジュニア内でも再度確認している	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0			